

GPS 60

連続28時間運用可能、4階調モノクロLCD
クイック・リファレンス・ガイド



各種キーボタンの操作について	3
電池	4
最初に	4
サテライトページの特徴	5
マップページの特徴	6
地図の設定	8
コンパスページの特徴	10
ハイウェイページの特徴	11
ルートナビゲーション	12
FIND 機能	13
トリップコンピューター	14
メインメニュー	15
セットアップ	17
ナビゲーション情報の一覧(ソフトバージョン 2.30)	23
PC 間の USB 接続	26
アフターサービス	28

各種キーボタンの操作について

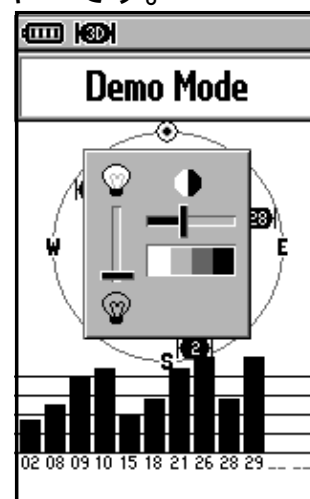
IN: ズームインキーは地図画面で、表示を拡大するために使います。

OUT: ズームアウトキーは地図画面で、表示を縮小するために使います。

FIND/MOB: **FIND** キーは登録されているウェイポイントを検索し、ナビゲーションの目的地に設定するために使います。**FIND/MOB** キーを2秒以上押続けると、GPS60は現在位置を登録すると同時に登録したポイントに向けてナビゲーションを開始します。**MOB**ポイント(Man Overboard)というのは人間が落水したポイントのことです。落水位置を簡単に登録して同時にそのポイントまで戻れるようにナビゲーションを瞬時に開始するための機能です。

PAGE: **PAGE**キーは主要な画面を順次切り替えて表示させるためのキーです。

POWER: 電源のON/OFFを行います。電源を入れる場合、画面が表示されるまで押し続けて下さい。電源ボタンを軽く押して放すと、バック照明の点灯を行うためのスライダーが表示されます。5段階の照度が設定が可能です。電源ボタンを再度軽く押すと消灯します。ロッカーキーを左右方向に動かし、LCDの輝度調整を行うことができます。



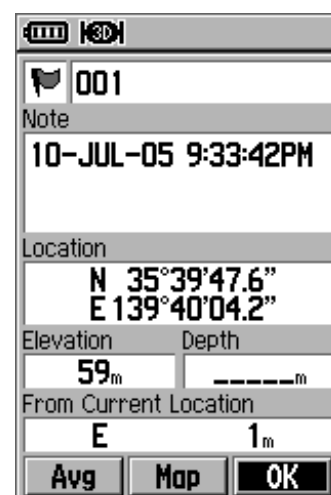
MENU: メニューキーを押すと現在表示されている画面に対する各種の設定を行うためのメニューが表示されます。GPS60の全般的な設定を行うメインメニューを表示するためには**MENU**キーを2度押して下さい。

QUIT: クイットキーは画面をページキーとは逆の順序で切り替えて表示させます。また現在行っている作業を中断するためにも使います。

ENTER: メニューより選択した項目を入力するために使います。

MARK: 現在位置を登録するウェイポイント登録画面が表示されます。このキーを押して現在位置を登録します。

ROCKER: ロッカキーは上下左右に動かすことができ、メニューで表示される項目の選択を行います。地図画面でロッカーキーを動かすことにより画面にマップポインターが表示され画面のスクロールが可能になります。



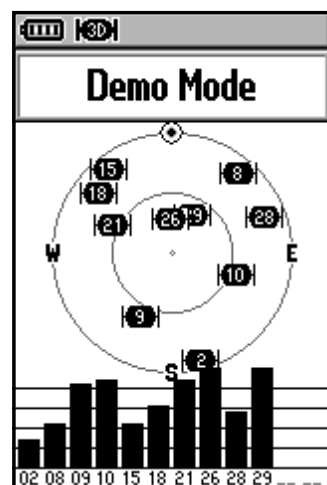
電池

乾電池は単三型アルカリ電池または、リチウム電池2本ご使用いただけます。 本体背面のDリングを反時計回り方向に45度回転させ引き上げバッテリーケースに電池の極性を確認のうえ電池を挿入願います。 同じ要領でバッテリー蓋を閉めて下さい。

最初に

GPS60の電源を入れてしばらくすると、衛星の受信状態を表示するサテライトページが表示されます。

衛星が巧く受信できない場合 Poor Satellite Reception という警告が表示されます。 同時に下記選択メニューが表示されます。



Start Simulator: GPS の機能を停止してシュミレーションモードにする。

New Location: 新しい場所に移動した場合、現在位置を入力する。

Stored w/o Batteries: 長時間バッテリーを外して保存していた場合。

Continue Acquiring: 衛星の捕捉を継続する。

上記の何れかを選択願います。

初期化には5分～15分程度かかる場合がありますが、一度初期化を行うと長距離をGPS60の電源を入れずに移動しない限り次回の電源投入時は1分以内で衛星を捕捉します。

測位後も正しい日付けが表示されない場合、QUIT キーとMENU キーを押しながらさらに電源キーも押し、これら3つのキーを3秒以上押し続けGPS60の画面が現れましたら各キーを押すのをやめ再度測位願います。

<リセット時のご注意>

電源が投入されていない状態で、PAGE キーとENTER キーを押しなが電源を入れると、Do you really want to erase all user data?(ユーザーデータを全て削除したいですか?)の小窓が現れます。ここでYes(はい)を選択するとマスター・リセットがなされます。

マスター・リセットを行うと各設定項目が工場出荷状態の初期値に戻りますので、時間や単位等の各種設定を改めて行わなければなりません。

また、ご自身で登録されましたウェイポイントや移動軌跡ログ等も全て削除されます。

サテライトページの特徴

受信状態の表示。

衛星の位置、各衛星の信号強度の表示。

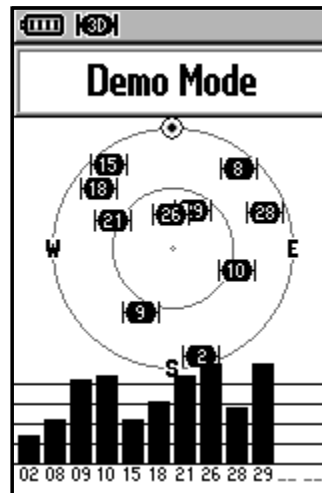
オプションメニュー： サテライトページで MENU キーを一度押すと下記選択メニューが表示されます。 ロッカーキーを使用して必要な項目を選択してENTERキーで入力の確認を行います。

Use with GPS On<>Use GPS Off :

GPS 機能を停止してGPS60を屋内で使う場合GPS Onを選択下さい。GPS 機能を開始する場合GPS Onを選択願います。

North Up<>Track Up :

画面上部を北に設定する場合North Up、進行方向を画面上部に設定する場合はTrack Upを選択願います。



New Location :

最後にGPS60を使用してから数100キロ以上電源を入れること無く移動した場合New Location を選択してENTERキーを押すとさらにAuto, Mapの選択画面が現れるのでAutoを選びENTERキーを押すと初期化が始まります。Mapを選択すると地図画面が現れるのでロッカーキーでポインターを移動させ、おおよその現在地を指しENTERキーを押すと初期化が始まります。

マップページの特徴

内蔵地図の表示。

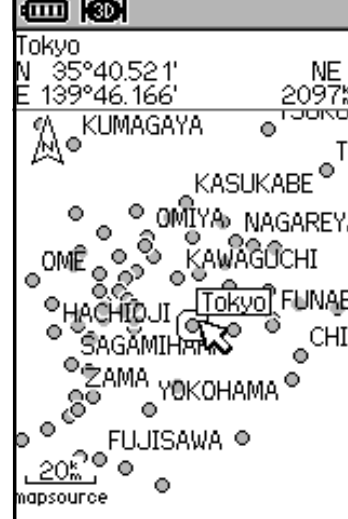
現在の地図が表示されている縮尺スケールの表示。

最多9種類のナビゲーション情報を自由に組み合わせて表示。

現在位置から任意のポイントまでの距離を計測。

マップポインターによる画面のスクロール。

地図の設定。



オプションメニュー： マップページでMENUキーを一度押すと下記選択メニューが表示されます。 ロッカーキーを使用して必要な項目を選択してENTERキーで入力の確認を行います。

Stop Navigation:

ナビゲーションを停止します。ナビゲーションが行われていない場合選択できません。

Data Fields:

ナビ情報表示枠の行数及び表示サイズの選択を行うことができます。地図画面にナビ情報を表示させるか、地図だけを表示させるかの選択が可能です。Map Onlyを選択すると地図のみが表示されます。Data Fieldを選択すると地図に加えナビ情報の窓枠が表示されます。

Change Data Fields:

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせENTERキーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後にENTERキーを押して入力の確認を行います。

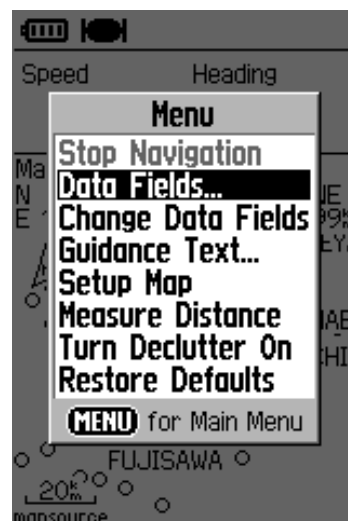
Guidance Text:

文字によるナビゲーションガイドを表示させるかどうかの設定です。

Always Show: 常に表示させる

Never Show: 表示させない

Show When Navigating: ナビゲーション時に表示させる



Setup Map :

地図表示に関する全般的な設定を行います。

Measure Distance<>Stop Measuring :

2点間の距離をマップポインター表示枠に表示させることができます。Measure Distance (距離測定)を選択した後に始点となるポイントを地図上に表示される矢印(マップポインター)で指した後ENTERキーを押します。次に距離を測る終点のポイントをマップポインターで指すと始点からの距離及び方位角(ベアリング)が表示されます。

Declutter On:

On状態で、道路名、都市名などズームアウト時に邪魔になる名称、記号などを表示させません。Off状態で全て表示させます。

Rstore Defaults:

工場出荷時の設定に戻します。

地図の設定

< 全般的な設定 >

*Orientation： 地図の方向を設定します。

North Up: 画面上部を北側とする。

Track Up: 進行方向を画面上部とする。

*Below：

設定された地図スケール以下はTrack Upで表示します。

それ以上のスケールではNorth Up表示に変更します。

*Auto Zoom： オートズームの設定。

On: 目的地に近づくにつれて自動で画面の縮尺を拡大する。

Off: オートズームを行わない。

*Detail： 地図上に表示される内容の詳細度の設定を行います。

Most: より多く

More: 多く

Normal: 標準

Less: 少なく

Least: より少なく

*Lock On Road： 位置表示アイコンを道の上に表示させるかどうかの設定です。

On: 常に道の上に表示させる。

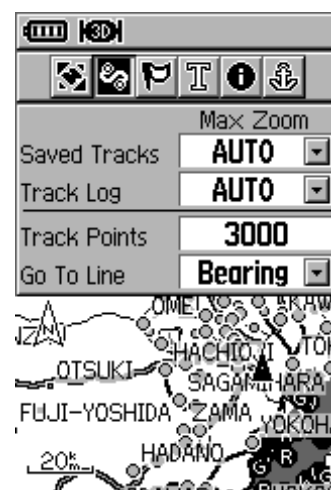
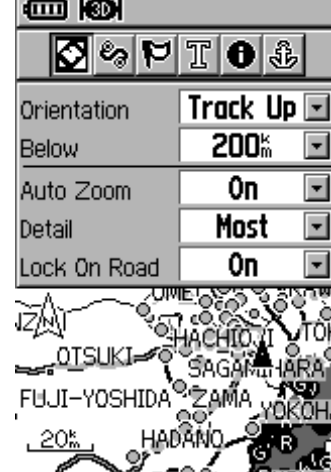
Off: 道路の有無に関係なく現在位置を表示させる。

<トラック> 移動軌跡の表示方法の設定を行います。

*Saved Tracks： 保存された軌跡の表示方法の設定です。

Auto: 保存された軌跡の全体が表示される地図スケール以下の縮尺が選択されると、軌跡の表示が行われます。

数値で任意のスケールを選択すると、設定されたスケール以下の縮尺が選択された時に軌跡が表示されます。



*Track Log: 現在記録中の軌跡(アクティブ・ログ)の表示方法の設定です。

Auto: 軌跡の全体が表示される地図スケール以下の縮尺が選択されると、軌跡の表示が行われます。数値で任意のスケールを選択すると、設定されたスケール以下の縮尺が選択された時に軌跡が表示されます。

*Track Point: 表示されるアクティブ・ログの長さをポイント数で設定します。

表示枠にカーソルを移動しENTERキーを押すと編集用の数字欄が表示されます。

ロッカーキーで必要な数字を選択して編集完了後、OKを選択してENTERキーを押します。

*Go To Line: ナビゲーションの目的地の方向を示す線の表示方法を設定します。

Bearing: 現在位置から目的地への直線方向に設定します。

Course: ナビゲーションの開始ポイントと目的地を結んだ線に設定します。

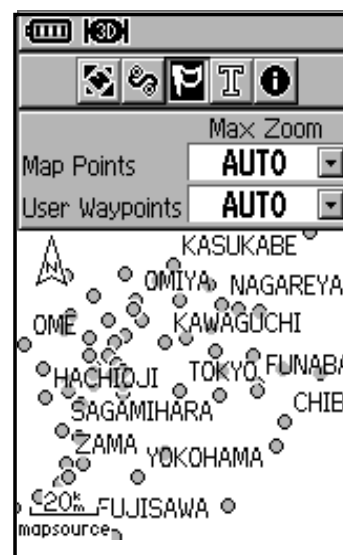
<ポイント> 地図上のポイント、道路名などの表示方法の設定。

Map Points/User Waypoint

OFF: ポイント名、道路名、地域名等の表示を行わない。

Auto: 自動で行う。

数値: 設定した地図スケールで表示させる。



<文字 "T"> 地図上の文字の大きさの表示方法の設定。

Map Points/User Waypoints

None: ポイント名、道路名、地域名等の表示を行わない。

Small: 小さい文字で表示

Med: 中程度の文字で表示

Large: 大きい文字で表示

iのアイコンを選択すると転送されている地図データの名称が表示されます。GPS60には Worldwide City Database という全世界の人口20万人以上の都市の座標集が収録されています。左側のチェックボックス(Show)にチェックマークが表示されていない場合、その座標データは表示されません。

カーソルを移動してクリックするとチェックマークが付加され地図画面に表示されます。

コンパスページの特徴

目的地の方向を示す矢印

最多8種類のナビゲーション情報も自由に組合せて表示。

オプションメニュー： ポインターでメニューキーを一度押すと下記選択メニューが表示されます。 ロッカーキーを使用して必要な項目を選択してENTERキーで入力の確認を行います。

Stop Navigation :

ナビゲーションを停止します。ナビゲーションが行われていない場合選択できません。

Course Pointer<>Bearing Pointer

Course Pointerはナビゲーションの開始ポイントと目的地を結んだコースラインと現在地のズレを破線で表示します。Bearing Pointerは目的地への方位(ベアリング)を表示します。

Data Fields :

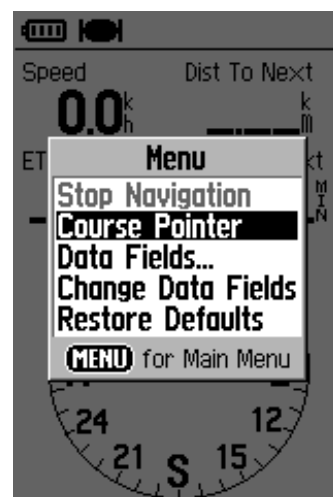
ナビ情報表示枠の行数及び表示サイズを選択を行うことができます。地図画面にナビ情報を表示させるか、地図だけを表示させるかの選択が可能です。Map Onlyを選択すると地図のみが表示されます。Data Fieldを選択すると、ナビ情報の窓枠も追加表示されます。

Change Data Fields :

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせENTERキーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後にENTERキーを押して入力の確認を行います。

Rstore Defaults:

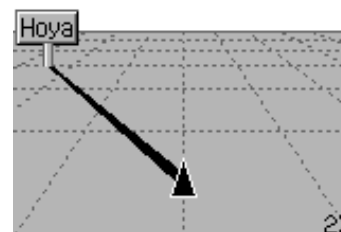
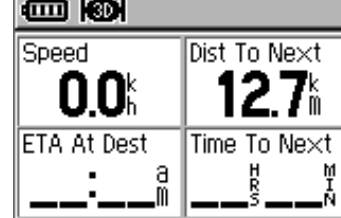
工場出荷時の設定に戻します。



ハイウェイページの特徴

進行方向を空から見たハイウェイのように鳥瞰的に表示。
最多4種類のナビゲーション情報を自由に組合せて表示。

ハイウェイページの表示は MAIN MENU 画面から Highway を選択して表示させます。



オプションメニュー

Stop Navigation:

ナビゲーションを停止します。ナビゲーションが行われていない場合選択できません。

Data Fields:

ナビ情報表示枠の行数及び表示サイズを選択を行うことができます。

Change Data Fields:

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせENTERキーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後にENTERキーを押して入力の確認を行います。

Restore Defaults: 工場出荷時の設定に戻します。

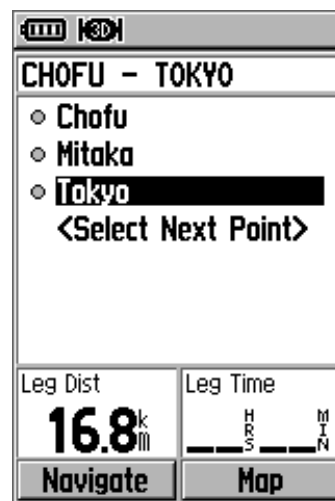


ルート ナビゲーション

MENU キーを2度押しMain Menuを表示させ、Routesを選択してENTERキーを押すとルートページが表示されます。

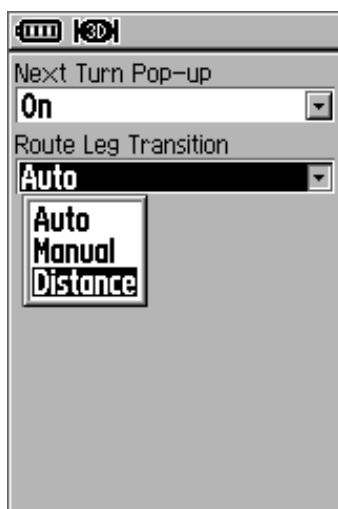
ルートの作成:

Newを選択してENTERキーを押します。Select Next Pointを選択後ENTERキーを押します。ポイントの選択画面から、最初に通過するポイントを選択してENTERキーを押します。次のポイントもSelect Next Pointにカーソルを移動してから同様に登録します。これを繰り返しルートを完成させます。



オフロード設定

MENU キーを2度押しMain Menuを表示させ、Routesを選択してENTERキーを押すとルートページが表示されます。MENUキーを押すと、ルート of 全削除及びオフロード設定の選択メニューが表示されます。Delete All Routesで登録されているルートが全て削除されます。ただし、ルートを構成するポイントは削除されません。Off Road Transitionを選択してENTERキーを押します。自動で次のポイントへのナビゲーションに切り替えるタイミングを設定する画面が表示されます。



Next Turn Pop-up

Onを選択すると変針点が近づいてくると、コンパスの矢印が変針方向に曲がり表示されます。

Route Leg Transition

Autoはルートに従い自動的にコンパスの矢印を表示させます。Manualを選択すると、アクティブルートページで、次のポイントに進む時はOUTボタンを、前のポイントに戻る時にはINボタンを押してナビゲーションを行うことができます。

Distanceを選択し、ポイントに到達したと見なす範囲を半径で入力しておけば、設定範囲に入ると同時にルート上の次のポイントに向けてナビゲーションが自動的に切り替わります。

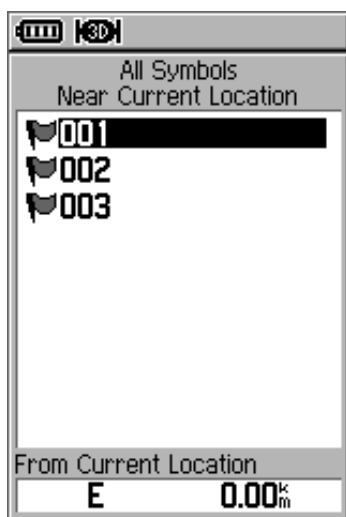
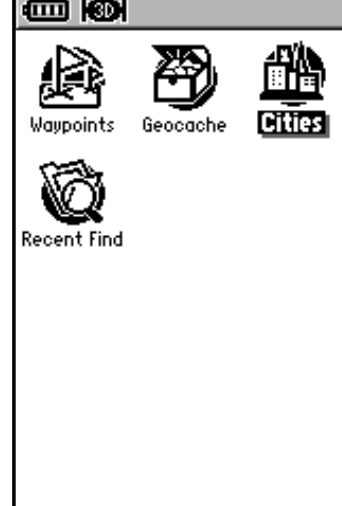
以上の設定を行った後、ルートナビゲーションに使用するルートを選択し、Navigateにカーソルを移動してENTERキーを押してナビを開始します。進行方向はコンパスページで、相対的な位置は地図ページで確認します。



FIND 機能

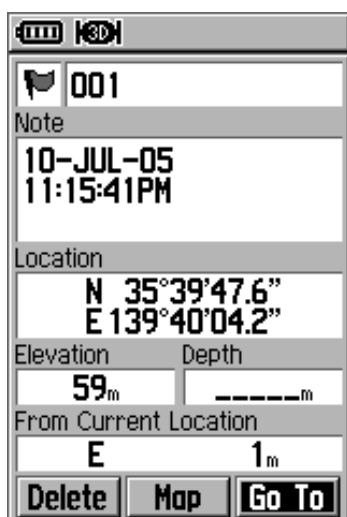
FIND キーを押すと登録済みのポイント、都市名、海事関連ポイント、ジオキャッシュポイント、などを検索し、ナビゲーションの目的地とすることができます。

例えばウェイポイントのカテゴリを選択すると、登録されているポイントが一覧で表示されます。目的地に設定したいポイントを選択してENTERキーを押すと、ポイントの詳細画面が表示されます。

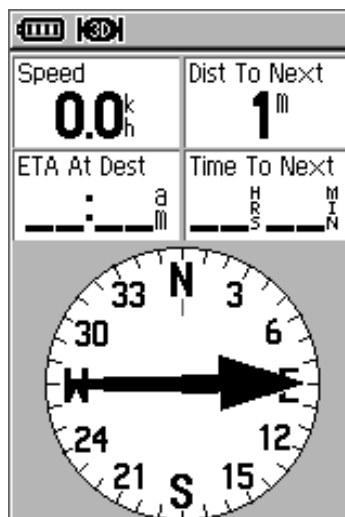


詳細画面の右下のGo Toを選択してENTERキーを押すと同時にナビゲーションが始まります。現在の相対的な位置は地図画面で表示されます。目的地への直線方位は、PAGEキーを押してコンパス画面を表示させると、矢印で表示されます。

ナビ情報欄には目的地までの距離現在の移動速度、所要時間などを表示させることができます。



..



トリップコンピューター

8種類、又は大きい文字サイズで3種類のナビ情報を一覧で表示します。 ナビ情報は自由に組合せ表示することが可能です。

Reset:

最高速度、オドメータ情報、軌跡、ルート、登録ポイントなどをリセットします。全てをリセットするには Select All を選択、次に Apply を選択後 ENTER キーを押します。

Big Numbers<>Small Numbers:

文字サイズの切替を行います。

Change Data Fields:

ナビ情報の内容を自由に組み合わせで表示させることができます。この項目を選択するとナビ情報のタイトル部分がハイライト表示になります。ロッカーキーで各表示枠へ移動し、表示内容を変えたいタイトルをハイライトさせENTERキーを押すと表示可能なナビ情報の一覧リストが表示されますので、ロッカーキーで必要な項目を選択した後にENTERキーを押して入力の確認を行います。

Restore Defaults:

工場出荷時の設定に戻します。



メインメニュー

MENUキーを二度押すとメインメニュー画面が表示されます。

Tracks: トラック = 軌跡
Routes: ルート
Highway: ハイウェイ画面
Setup: セットアップ
Proximity: プロキシミティ
Calendar: カレンダー
Alarm Clock: アラームクロック
Calculator: カリキュレーター
Sun & Moon: サンアンドムーン
Hunt & FishSetup: ハントアンドフィッシュ
Games: ゲーム

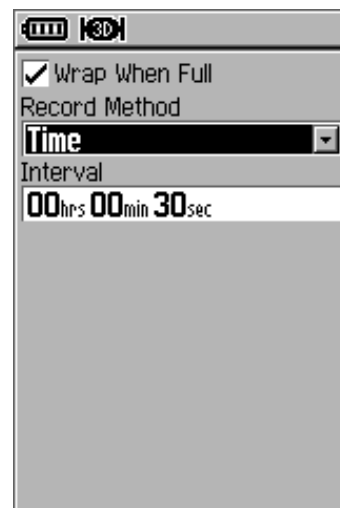


トラック

Tracks: 移動軌跡データを保存したり (Save)、消去したり (Clear)、Track Back という軌跡を辿るナビゲーションが可能です。移動軌跡を記録する場合はトラック画面の上部のOnにカーソルを移動してENTERキーを押します。Onの前のチェック欄が黒になっていることを確認下さい。この時Offのチェック欄は白色です。

さらにTracks画面でSetupを選択後ENTERキーを押すと、ログの記録方法の設定が可能です。Wrap When Fullにチェックマークが入っていると、ログが一杯になった時、古いログを消し新しいログを追加します。

Record Method: 記録方法及びその間隔設定。
Distance: (移動軌跡を距離基準に記録する)
Time: (移動軌跡を時間基準に記録する)
Auto: (MAP60独自の方法で自動的に記録する)



Distanceは記録の間隔を距離で、Timeの場合は時間をIntervalの欄に入力します。Autoの場合、Intervalは以下より選択願います。

Most Often: 移動軌跡はかなり頻繁に取る。
More Often: 移動軌跡は頻繁に取る。
Normal: 移動軌跡は普通に取る。
Less Often: 移動軌跡は控えめに。
Least Often: 移動軌跡はかなり控えめに取る。

Routes: 登録されているルートの一覧、編集を行うことができます。

Highway: ハイウェイ画面を表示させます。

Setup: 表示単位、世界標準時との時差、PCとのインターフェイス、等の設定を行います。

Proximity: プロキシミティーポイントを登録し、設定された距離(ポイントを中心とした半径で設定)以上ポイントに近づくとアラームが鳴り、ポイントに近づいたことを知らせます。

Calendar: カレンダーの表示。

Alarm Clock: アラーム時間の設定、アラーム音の選択等を行います。

Calculator: 電卓が使えます。

Stopwatch: ストップウォッチが使えます。

Sun & Moon: 潮の満ち引き、日の出・日の入り、月の満ち欠け等を表示致します。

Hunt & Fishp: 狩猟、釣りに適した時間帯を表示させます。

Games: GPS機能を使ったフィールドゲームが楽しめます。

セットアップ

Main MenuからSetupを選択するとセットアップ画面が表示されます。動作モード、表示単位などの各種設定が可能です。

System(システム)

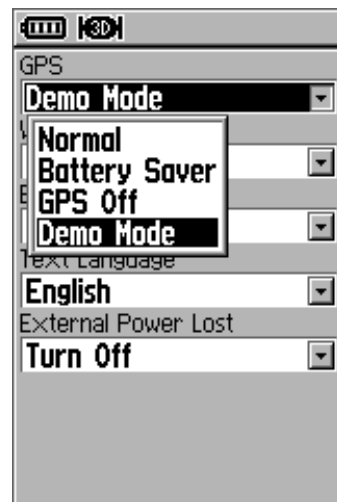
GPS： 通常(Normal)、省エネ(Battery Saver)、GPS Off
デモ(Demo Mode)の各種モードを選択します。

WAAS： 現在日本ではご使用いただけません。
Enabled： 北米でご使用時にEnabledに設定願います。
Disabled： 日本でご使用の際はDisabledに設定します。

Battery Type： ご利用いただく電池の種類を登録願います。
Alkaline： アルカリ電池をご利用いただく場合。
NiMH： ニッケル水素電池をご利用いただく場合。

Text Language： 表示言語の切替を行います。

External Power Lost： 外部からの電源供給が無くなった場合の処置
Turn Off： 外部からの電源供給が無くなった場合はMAP60の電源を切る。
Stay On： 内部電池がある場合は、そのまま作動を継続する。



Display(ディスプレイ)

LCD表示、バック照明等の設定です。

Backlight Timeout：
バック照明の自動消灯タイマーの設定が可能です。

Backlight Level：
バック照明のレベルを微調整することができます。
カーソルをこの項目に移動してからENTERキーを押します。ロッカーキーを上下に動かし照度調節を行います。

Contrast：
LCDの輝度の調整をすることができます。 ロッカーキーを左右に動かして輝度調整を行います。



Interface(インターフェイス)

外部機器との通信のインターフェイスの設定を行います。

USB(GARMIN Data Format): USB 経由で PC その他の外部機器と接続が行われているかどうかを表示します。

Serial Data Format: RS232 シリアルポートの設定です。

GARMIN: ガーミン社独自のフォーマットによりウェイポイント、ルート及びトラック情報をパソコンとMAP60間で転送が可能です。

GARMIN DGPS: ガーミン社の DGPS 受信機よりのデータ入力及び同調が可能となります。

NMEA In/NMEA Out: NMEA0183 のフォーマットにてデータを出力します。

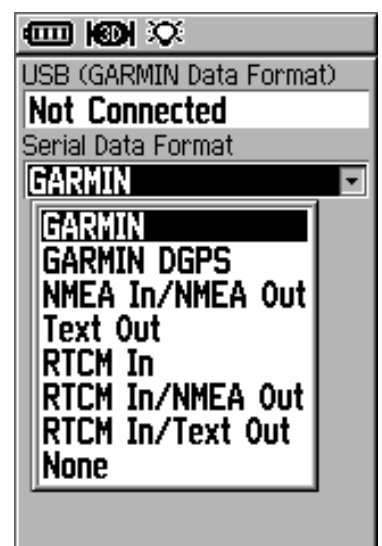
TEXT Out: ASCII テキストにて日時、位置座標、移動速度データを出力します。

RTCM In: RTCM SC-104 によるデータ入力を可能にします。出力はサポートしません。

RTCM In/NMEA Out: RTCM SC-104 によるデータ入力を可能にすると同時に NMEA0183 バージョン 2.3 のフォーマットにてデータを出力します。

RTCM In/TEXT Out: RTCM SC-104 によるデータ入力を可能にすると同時に ASCII テキストにて日時、位置座標、移動速度データを出力します。

None: インターフェイスを使用しない。



Tones(トーンズ)

アラームの種類を機能別に設定します。

Message Beep: メッセージが表示される時のアラーム

Key beep: キーボタンを押した時のアラーム

Power beep: 電源のオン・オフ時のアラーム

Turn Warning (Early): 方向指示のアラーム

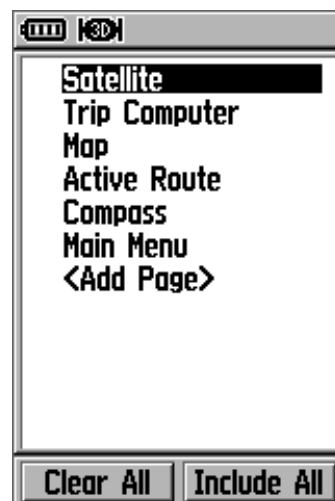
Mute チェックボックスを選択後ENTERボタンを押すと消音状態になります。



Page sequence(ページ シークエンス)

PAGEキーで切り替わる表示画面の順序を設定します。

現在登録されているページにカーソルを移動してENTERキーを押すとMove(移動)、Insert(挿入)、Remove(削除)が表示されます。移動を選択・実行するとロッカーキーでページの表示順番を変更することができます。Insert又は<Add Page>を選択・実行すると、追加できるページタイトルがドロップダウンメニューで表示されますので、選択・実行します。



Clear Allは登録されているページタイトルを全て削除します。

Include Allを実行すると全てのページタイトルが登録されます。

Map(マップ)

地図画面の設定を行います。詳細は8ページを参照願います。

Geocaching(ジオキャッシング)

ハンディGPSを使ったジオキャッシングというアウトドアゲームの世界的な流行の兆しがあります。インターネット上に公開されているゲームキャッシュの座標をGPSに入力して宝探しを行うゲームで、日本を含め全世界190ヶ国にゲームキャッシュが隠されています。

MAP60にはジオキャッシュ用のアイコン及びキャッシュを見つけた時にカレンダーに記録する機能がついています。日本のジオキャッシュサイトのURLは以下の通りです。

<http://www.geocaching.jp/>

Marine(マリン)

各種アラームの設定が可能です。

- Anchor Drag Alarm:** アンカーアラームの設定
- Off Course Alarm:** コースずれに対するアラーム設定。
- Deep Water Alarm:** 深瀬アラーム *1
- Shallow Water Alarm:** 浅瀬アラーム *1
- Speed Filter:** 移動速度を平均化するフィルターの設定。

*1 これらのアラームはGPS60にNMEA形式で測深計のデータの入力を行った時に有効です。

Time(タイム)

時間の設定を行います。Time Zoneで現在地を選択するかOtherを選択した後UTC Offsetを世界標準時と現在地の時差を入力します。Daylight Saving Timeはサマータイム実施国での設定です。

注意)GPS60は測位と同時にGPS衛星の高精度時計と同期致しますので時計を合わせる機能はございません。測位が行なわれないまま放置しますと内部クロックは誤差が大きくなりますが、測位と同時に正しい日時を表示いたします。

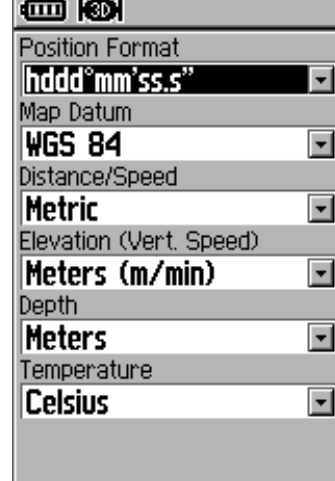


Unit(ユニット)

数値の表示単位などの設定を行います。

Position Format: 座標の表示形式を設定します。

Map Datum: ご使用になられる地図の測地系に合わせて選択願います。世界標準測地系ベースの紙地図等をご使用の場合は、**WGS84**を選択願います。また、日本測地系ベースの紙地図をご使用の場合は**Tokyo**を選択願います。お手持ちの地図の測地系をご確認後、MAP60のMap Datum設定をその地図の測地系に合わせ随時設定変更の上ご使用下さい。



Distance/Speed: 距離座標の表示単位を設定します。メートルの場合はMetricです。

Elevation/Vert. Speed: 高度、昇降速度の表示単位を設定します。

Depth: 深度の表示単位を設定します。メートルの場合Metersを選択します。

Temperature: 温度表示単位を設定します。摂氏の場合Celsiusを選択します。

Pressure: 気圧の単位を設定します。ヘクトパスカル(Hectopascals)が一般的です。

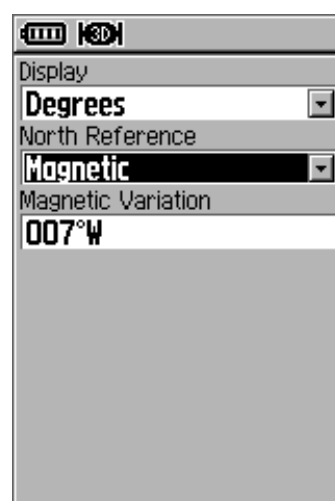
Heading(ヘディング)

方位の表示方法等の設定を行います。

Disply: 角度の表示単位の設定です。360度表示の場合はDegreeを選択下さい。Cardinal Letterが選択されるとNE(ノースイースト=北東)、N(ノース=北)など1-2桁の文字で凡その方向を表示します。

North Reference: 真北(True)、磁北(Magnetic)の北の基準を設定します。

Magnetic Variation: 磁北と真北の偏差を角度で表示します。



ナビゲーション情報の一覧(ソフトバージョン 2.30)

ACCURACY(アキュラシー)Of GPS : 測地精度。

BEARING(ベアリング): 現在地から目的地を直線で結んだ方位。

COURSE(コース): ナビゲーションの始点と目的地を直線で結んだ方位。

DEPTH(デプス): 深度。

DISTANCE to DESTINATION(ディスタンス・デスティネーション): 最終点までの距離。

DISCENT to NEXT(ディセント・ネクスト): 次のポイントまでの距離。

ETA At DESTINATION(ETA・デスティネーション): 最終ポイントへ到着する予想時刻。

ETA At NEXT(ETA・ネクスト): 次のポイントに到着する予想時刻。

ELEVATION(エレベーション): 海拔高度。

GLIDE RATIO:(グライドレシヨ): 水平移動距離に対する垂直移動距離の比率。

GLIDE RATIO TO DEST(グライドレシヨ・トゥー・デスティネーション): 現在位置から目的地に到達する為に必要な沈下率。

HEADING (ヘディング): 現在の進行方向。

LOCATION(LAT/LON)(ロケーション): 緯度経度による現在位置。

LOCATION(SELECTED)(ロケーション): 選択された座標表示形式による現在位置

ODOMETER (オドメータ): 全ての距離の積算。

OFF COURSE(オフ・コース): コースラインからの左右方向へのずれ (距離)。

POINTER(ポインター): 次の目的地を示す矢印。

SPEED(スピード): 現在の移動速度。

SPEED MAXIMUM(スピードマキシマム): 最高速度。

SPEED-MOVING AVG(スピード・ムービング・アベレージ): 移動平均速度。

SPEED-OVERALL AVG (スピード・オーバーオールアベレージ): 測位開始後の平均速度。

SUNRISE (サンライズ): 現在地の日の出時刻。

SUNSET (サンセット): 現在地の日の入り時刻。

TIME TO DESTINATION(タイム・デスティネーション): 最終目的地までの予想所要時間。

TIME TO NEXT(タイム・トゥー・ネクスト): 次の目的地までの予想所要時間。

TIME OF DAY(タイム・オブ・デイ): 選択されたタイムゾーン(時間帯)での時刻。

TO COURSE(トゥー・コース): コースラインに戻るための方位角。

TRIP ODOMETER (トリップオドメータ): リセット後の総積算距離計

TRIP TIME-MOVING (トリップタイム・ムービング): 移動行程における移動した時間。

TRIP TIME-STOPPED (トリップタイム・ストップド): 移動行程における停止した時間。

TRIP TIME-TOTAL(トリップ・タイム・トータル): 全ての移動行程時間の合計。

TURN(ターン): 目的地への角度差。 "L" は左に、"R" は右に曲がることを意味する。

VELOCITY MADE GOOD(ベロシティー・メイド・グッド): 目的地に近づいて行く速度。

VERTICAL SPEED (パーティカルスピード): 一定時間おける垂直移動の速度

VERT SPEED DEST (パーティカルスピード・デスティネーション): 目標への垂直移動速度

WATER SPEED(ウォーター・スピード): 船速を NMEA で出力できる外部機器と接続した時。

WATER TEMP(ウォーター・テンプレチャー): 水温 (NMEA で出力できる外部機器と接続時)

WAYPOINT DESTINATION (ウェイポイントデスティネーション): ルート上の最終ポイント。

WAYPOINT NEXT (ウェイポイントネクスト): ルート上の次のポイント。

PC 間の USB 接続

付属のマップソース、Trip & Waypoint Manager を PC にインストールする必要があります。
動作環境は以下の通りです。

IBM PC 互換、ペンティアムプロセッサ搭載

32MB RAM

CD ドライブ

ポインティングデバイス

256 色ディスプレイアダプター (24 ビットカラー推奨)

解像度 640 x 480 以上のモニター

32MB 以上の HDD フリースペース

Windows98 以上の OS

CD を PC の CD ドライブに入れて下さい。自動的にインストールプログラムが起動します。
起動しない場合は、ウインドウズのスタートボタンをクリックした後、ファイル名を指定して
実行をクリックします。入力欄に CD ドライブのパス及び setup を入力します。(例 d:¥setup)

インストールが終わると USB のドライバーもマップソースソフトとともにインストールされます。
GPS60 の電源を入れ、Interface 設定を GARMIN に設定した後、付属の USB ケーブルで GPS60 と PC を
接続します。OS が自動的に新しいデバイス GPS60 を認識してドライバーをインストールします。

W98、ME をご利用の場合は、マップソース CD をドライブに入れた状態で、GPS60 を PC に接続願いま
す。OS の指示にしたがい、USB ドライバーがある CD ドライブの場所を指定して、USB ドライバーの
インストールを行って下さい。

接続の確認は GPS60 のインターフェイス画面で USB GARMIN DATA FORMAT が Connected と表示され
ていれば PC と通信可能な状態です。OS のデバイスマネジャーでも確認願います。

Trip & Waypoint Manager は Garmin 社のマップソース製品のひとつです。Trip & Waypoint
Manager で地図データの転送を行うことはできませんが、PC 上でウェイポイント、ルートを作成し
て GPS に転送したり、GPS で登録したウェイポイント、移動軌跡を PC に転送することができます。

複数のマップソース製品もひとつの画面から切り替えてご利用いただけますので、用途に合わせご
購入をご検討下さい。以下の URL からにマップソースのご利用方法を簡単に記述したりファレン
スが無償でダウンロード可能です。

<http://www.rakuten.co.jp/ida-online/433105/>

ケース	対衝撃プラスチック。生活防水仕様
寸法	61(W) x 155(H) x 33(D) mm
重量	220グラム(電池を含む)
使用温度範囲	-15 - 70
受信部	D-GPS 対応、12 衛星並列受信 WAAS 対応
衛星捕捉時間	約 15 秒(ウォームスタート) 約 45 秒(コールドスタート)
初期化	約 5 分
更新時間	連続 1 秒毎
測地精度	15 メートル以内 RMS
データインターフェース	NMEA 0183、RTCM 104(DGPS) RS232C(パソコン) USB(Garmin)
アンテナ	内蔵
外部アンテナ端子	有り
電池寿命(セーブモード時)	連続 28 時間 *1

*1 低温で使用時はできるだけリチウム電池を御使用願います。 又、バック照明の連続点灯は電池寿命を著しく短くします。

アフターサービス

正常なご使用状態で保証期間中故障した場合は保証書を弊社サービス室にお送り下さい。保証内容は保証規定に記載した通りです。

GPS GPS60 の補修部品の保存期間は製造停止後5年です。

修理時代替品を使用させていただく場合もあります。

ご使用状況によっては精度が仕様通りにならない場合があります。

保証規定

1. 本取扱説明書に従ったご使用状態で万一故障した場合、ご購入日より一年間無償で修理致します。

2. 修理の必要が生じた場合、製品に保証書を添えて弊社サービス室に郵送料お客様ご負担でご郵送願います。

3. 保証期間を問わず以下の場合の修理は有償となります。

- A. 誤用、乱用、取扱の不注意による故障
- B 天災、盗難等の災害による故障
- C 不当な修理、改造、異常電圧による故障
- D 使用中に生じた傷等の外観の変化、変形
- E 保証書の提示が無い場合、ご購入日の記載が無い場合

4. 保証書の再発行は致しません。

